

【小平市】

■実施日時：令和 7 年 3 月 17 日 14:00～16:00

■参加部署：健康福祉部生活支援課
社会福祉協議会

■実施内容：取組状況の共有・情報交換

○ひきこもり支援の中心部門

- ・担当部署は健康福祉部生活支援課。相談窓口は小平社会福祉協議会こだいら生活相談支援センター（以下「こだいら生活相談支援センター」という。）。

○小平市の動き

- ・元々は生活困窮者自立支援制度の委託の中でひきこもり支援を行っていたが、CSW が重層的支援体制整備事業に向けて 5 名配置され、ひきこもり支援を行うようになった。
- ・CSW が配置されているこだいら生活相談支援センターは、自立相談支援機関でもあり、CSW も配置されている。生活困窮の相談の中でひきこもりの問題が出てくる場合があるため、CSW も支援に関わっている。

○家族会との連携状況について

- ・令和 4 年 9 月より、準備会を経て家族会として「ともの会」が発足。
- ・家族会の運営支援をこだいら生活相談支援センターが行っている。
- ・毎月 1 回定例会を開催。定例会での要望により、講師を招いた勉強会やオープンダイアログを行う場合もある。

○民生委員・児童委員との連携状況について

- ・相談があった際に CSW と話し合いが出来る関係づくりを行っている。

○学校との連携状況について

- ・家族会のチラシを小中学校の SSW 宛てに定期的に送付している。
- ・SC が親支援のため、家族会にオブザーバーとして参加したことがある。
- ・SSW と CSW が重層的支援体制整備事業の実施を機に、意見交換会を開いたり、連絡会に参加したり、顔の見える関係づくりをしている。

○重層的支援体制整備事業・地域福祉計画について

- ・CSWを中心に孤立傾向にある方が社会に繋がる支援を行っている。
- ・当事者宅へ伺うアウトリーチ支援はCSWを中心に行っている。
- ・社会参加型就労体験「JOY!JOB KODAIRA」という活動がある。
市内の農家・商店・企業・福祉施設・医療機関等と連携し、生きづらさを抱える方が社会へ一步踏み出すための仕組みづくりを進め、活動を行っている。
- ・相談支援包括化推進員を配置し、多機関協働事業者として連携や調整を行っている。

○生活困窮者自立相談支援機関での対応について

- ・家族会で他市参加者を、他市のひきこもり支援機関へ繋いだことがある。
- ・保健所・障がい者支援課・地域包括支援センター・生活支援課と連携あり。

○保健所・保健センターでの対応について

- ・保健所の保健師には「ともの会」に参加した際に、保健所が行っている支援の話を家族向けにしていただいた。
- ・病院への相談を促し、同行支援をしていただくといった連携はある。

○ひきこもりサポートネットからの情報提供・事例紹介・提案等

- ・保健師やCSWが自治体の各地域で年2~3回程度、相談会を開催したという、他自治体の取り組みについて紹介。ケースの発見に繋がる可能性がある。
- ・まるごと相談として、ひきこもり相談・困窮の相談も受けている他自治体の取り組みを紹介。
- ・支援者交流会について案内。
- ・ひきこもり支援を考える枠組みに当事者やご家族に参加していただき、視野を広げている他自治体の取り組みを紹介。
- ・多職種専門チームについて案内。